

いきいき串高

第164号

令和3年
12月22日発行
鹿児島県立
串木野高等学校

校訓

邁進 好學 積極

こんにちは！ボクは串木野高校のマスコットキャラクターの「串たん」！
今回は本校の生徒たちの生の声をみんなに届けます！
これから、高校入試が始まるので読んでみるときくと参考になるよ！



学校ホームページ



野球が得意なことに感謝

三年 上新遼太郎(串木野西中出身)
僕の中学時代は野球漬けの日々でした。野球選手になるのが夢で、進学も私立高校を目指していました。ですが、串木野高校野球部の監督に声をかけていただき、自宅からも近い高校でなっ、思いつき部活動ができるだろうと考え、串木野高校を受験しました。

入学してからは部員募集しながら地道に練習を続けました。監督も一緒に練習はもちろん、グラウンド整備をしてくれ、何とか二年の夏には、単独チームも結成できました。そんな僕たちの姿を身近で支えてくれたのが市長でした。地域を代表する市長がこんなに応援してくださるのだからもっと喜んでいきたいと思ひ、練習に没頭しました。お陰で三年生の夏の大会では奇跡がもきました。新聞の全国紙をはじめテレビ、ラジオで僕と串木野高校野球部の名前が報道される度に、地元串木野高校で野球を続けてきて本当に良かったと思ひました。両親や友人、そして先生たちに感謝しています。僕はこれまでの野球の経験を生かして、大学でも野球を続けながら、体育教員やトレーナー、コーチになるための勉強をします。



入学して人生が好転

三年 蛭原隆太(串木野西中出身)
中学時代はサッカーが好きで、休みの日も公園で練習するほどでした。進学先もサッカー部が充実している松陽高校を目指しました。しかし、悔しいことに松陽高校の受験に失敗してしまいました。そこで担任と相談した結果、母の出身校でもあり、地元で通学時間も短く、自分の時間もたっぷり使える串木野高校を二次選抜で受験しました。

僕は高校受験に失敗したので、この悔しさを二度と味わいたくないと思ひ、高校では宅習時間の確保や生徒会活動など、学校行事にも積極的に取り組み、その結果あらゆる場面で行動力が身につきました。身近にいる担任や真面目な友達存在が、僕の高校生活を充実させてくれました。お陰で物事を俯瞰して捉えることができるようになり、進学も国公立大学を目指して毎日遅くまで先生方が丁寧に対応してくださった結果、山口大学に合格することができました。串木野高校は僕の人生を大きく好転させてくれました。関わってくださった先生方や仲間、本当に感謝しています。



美術部で多くの経験

三年 井之上咲耶(串木野西中出身)
私は中学校の三年間はほとんど登校することができず、支援センターに通っていました。それは小学生から中学生まで学年や学校を問わず、様々な人たちが通っていました。将来の目標や進学先なども含め、悩むことが多い三年間でしたが、そこに通ったことで色々な人の話を聞いたり、悩み事を相談し合ったり、自分の人生でもっと貴重な時間を過ごすことができました。そして地元で、自宅からも近い串木野高校で自分の夢を探しながら勉強しようと思ひ、受験しました。

入学してから美術部に入部し、大きなキャンパスに絵を描いたり、油絵に挑戦したり、初めての経験を沢山しました。美術部の同じ志を持った仲間と一緒に活動を行ったことや、文化祭や高校美術展への出品などを通して、自己満足で絵を描いていた自分が、人に見てもらいたいと思ふようになり、人のために絵を描くということを意識して描くようになりました。

串木野高校は学校行事など、自分の得意なことを大いに発揮でき、一人一人の活躍をきちんと評価してくれる高校です。



夢だった京セラへの就職

三年 平石翔(串木野中出身)
僕は中学の頃から、将来は鹿児島出身の稲盛和夫さんが創設した京セラに就職したいと思ひていました。だから就職に有利で、資格が取得できる川内商工高校を目指していましたが、家から近いということで串木野高校を受験しました。

中学時代は真面目に学校生活を送らず、部活動ばかりやっていて宿題も提出できずに叱られてばかりいました。けれど串木野高校に入学してからは、少し勉強の大切さがわかり始めました。将来の夢は中学時代から変わらず京セラに就職することだったので、普通科から就職するために、勉強だけでなく学校行事や部活動もやって、充実した高校生活を送ることが大切だと考えました。そこで二年生から野球部に所属し、三年生の夏の大会では活躍することができました。そんな充実した高校生活を送ることができたお陰で、夢であった京セラへの就職も決まりました。

串木野高校の先生方は、生徒一人ひとりの夢を大切にして、丁寧に相談のつくれる素晴らしい方々です。



笑顔の絶えない高校

二年 川元あい子(串木野中出身)
私は中二の頃に教室に行けず、別室登校してしまいました。その頃は絵を描くことが好きで、将来はアニメ関連の仕事に就きたいと思ひていました。総合芸術部の友達や先生に支えてもらい、苦手な教科も克服し、卒業しました。

電車通学に慣れてしまったもの、朝起きるのも、人混みも苦手だったので、親や友達から家から近い、少人数で勉強もわかりやすいよ。」と勧められた串木野高校を受験することにしました。

串高は中学の授業内容が分からない生徒には、特別に、基礎基本から丁寧にわかりやすく教えてくれます。また、先生たちは親身になって生徒たちに接してくださるので、相談もしやすい雰囲気です。高校生になって笑顔が増えたと親に言われました。先日のビブリオバトルでは司会を担当しましたが、人前に立って話をしたことを中学時代の友人が聞いたら、きつと驚くでしょう。また、ALTのジエイク先生の特別なイベントが毎回楽しいので次はどんなイベントを計画するのが楽しみです。



大切な友達の発見

一年 久保陽菜(市来中出身)
中学時代は友達存在を気にすることもなく、一人で本を読むことが好きで、時間を見つけては本ばかり読んで過ごしていました。その頃、私の将来の夢はトリマーになることでした。そのためには高校から専門学校などに進学し、トリマーとして就職するのがよいと知りました。串木野高校が川内高校のどちらの学校にするか迷っていたところ、担任の先生が「串高の雰囲気がとても良かったよ。」と教えてくださったことがきっかけで、串木野高校を受験することに決めました。

入学してからは友達ができ、勉強で分からないところなどを、一緒に先生に質問に行ったり、成績を競い合ったりすることで、勉強も楽しくなりました。お陰で友達の大切さやありがたさに気付かされました。

串木野高校の生徒たちはとてもフレンドリーで、悩み事や困ったことなど何でも相談のつくれるので助かります。先輩や後輩として先生方との関係も身近にあるので、気を遣わず毎日が楽しいと感じることが多くなっています。



自転車通学で大きな成長

二年 佐藤孝則(生冠中出身)
 中学校時代の僕は勉強が苦手で、学校行事など自分から積極的に参加するようなタイプではなく、学校も遅刻しそうなったり忘れ物をしたりしていました。将来の目標も決まらず、何となく川内商工高校に行こうかなあと考えていました。しかし、いよいよ進路を決めるときに、親や兄とも相談し、兄の通う、学校まで自転車で行ける串木野高校を受検することにしました。

高校に入学して最初に変化があったのは、学校に到着するまでの時間を考えて行動するようになったことです。当たり前のことですが、僕にとっては大きな成長だったと思います。それからは授業や学校行事に積極的に参加し、将来のことも少しずつ考えるようになってきました。

串高は人数は少ないですが、部活動や学校行事では生徒だけでなく先生方も一緒に盛り上がります。二年に進級する際の初めてのクラス替えで、交友関係がさらに広くなりました。勉強面でも漢字検定や英語検定取得に向け、全員で取り組んでいます。



大好きな数学との出逢い

二年 木下誠海(串木野中出身)
 中学の時には保育士になるために保育科のある高校に進学しようと考えていましたが、真剣に勉強することもなく、将来の夢も漠然としていました。結局、普通科で自由な感じの串高に何とか決めました。

入学してから数学への興味が強くなり、これがきっかけで自分の将来についても考え直し、鹿児島大学理学部入学という目標をもつことで勉強が楽しくなってきました。放課後は学校で遅くまで勉強し、自宅に帰ってからはもちろん、休日も平均六時間の勉強時間を確保しています。その努力の結果として進研模試の数学で、近隣校含めても二番という順位の点数をとることができました。

串高は少人数の良さを活かして仲良く教え合いながら勉強しています。特に数学は、ICTを活用したわかりやすい授業で、いつでもすぐに対応してくださる先生方がいるので、疑問をそのままにすることがありません。学校行事も生徒が中心になって楽しく活動できる素敵な高校だと思います。



可能性を伸ばしてくれる

二年 中島優斗(串木野中出身)
 僕は中学生の頃までは卒業してすぐに調理師になって働きたいと思っていました。しかし祖母から、高校だけは卒業した方がいいよ、と言われ、普通科の串木野高校を受検することにしました。

高校に入学してからは、放課後残って勉強しているクラスメートがいたことがきっかけで、僕も残って一緒に勉強するようになりました。先生たちも授業以外の課題をだしてくださるようになり、自然に勉強時間も増えました。

今では放課後残って勉強していることで成績も急上昇し、得意な教科も増えてきました。苦手だと思っていた英語も、検定二級を取得することができました。先生方や友達との存在が、僕の苦手を克服し、あらゆることに挑戦できる機会を作ってくれています。串高は生徒の可能性を見つけ出し、伸ばしてくれる高校だと実感しています。



賑やかで笑顔が絶えない

二年 永山風士(羽島中出身)
 僕は幼少の頃から父と同じ警察官になることが夢で、普通科の串木野高校に進学してから県警を受験しようと思いましたが、それから串高のことを調べ、特に伝統行事の「歩こう会」に興味を持ちました。残念ながら今はコロナ禍で校内駅伝大会に変更になっています。中学三年の時に参加した高校説明会には、少人数で、生徒や先生方が仲良く学校生活を送っていることを知り、僕に合っていると思いました。

中学時代の僕はダラダラとした生活を続けて、先生方から注意を受けるような生徒でしたが、高校に入学してからは、警察官になるために勉強も真剣にやるようになりました。友達や先生方と話をしたり、生徒会役員に立候補したり積極的に行動しています。

串高は少人数を活かしたわかりやすい授業や、生徒一人ひとりが役割をもって学校行事に取り組める学校です。友人もすぐにつき、仲間となって勉強や色々な相談ができる雰囲気があります。クラスだけでなく、学校全体がとても賑やかで笑顔の絶えない日々が送れます。



自分のペースで勉強

一年 有村巨平(串木野中出身)
 僕は将来、社会科の先生になることが夢でした。勉強することは嫌いではなかったけれど、がむしゃらに頑張ることもなく、一人で静かに勉強していました。高校の進路先を決めたきっかけは、僕の姉も串木野高校出身であり、家から近いので通学に時間をかけず勉強することができると思ったからです。また、串木野高校は少人数で学習し、自分のペースで勉強することができると教えてもらったからです。

串高は生徒数が少ないのでクラスや学校行事で生徒一人ひとりにいろいろな役割がまわってきます。そのことで役割を達成するための責任感が僕の中で生まれてきました。また、先生方も教え方が丁寧で、生徒に寄り添った授業をしてくれるので、勉強に対する興味が強くなり、自宅での学習時間も増えて楽しく勉強できるようになりました。その結果、成績も伸び、さらに勉強する楽しさが増えてきています。

串高は僕のような人にぴったりの高校です。自分のペースで勉強していると思う人にはお勧めの高校です。



勉強する習慣が定着

一年 飯山蓮聖(市来中出身)
 私は中一の頃までは幼稚園教諭を目指してました。中二の頃から親と進路について相談するようになり、看護師を目指し私立の看護科への進路も考えました。しかし、担任や親、従姉妹たちから串木野高校もいい学校だよと勧められたり、高校説明会を聞いて、少人数で先生方への質問なども気軽にできる串高を受検しました。

中学時代までは部活動と勉強の両立に苦労しましたが、わからない部分をそのままにして成績が伸び悩んだ時期もありましたが、友達に支えられながら登校することができました。

串木野高校に入学してからは勉強で苦手な部分があると友達に聞いたり、先生に聞いたりすることで勉強に対する意識が高まり、長時間集中して勉強に取り組めるようになりました。

串高は先生たちが真摯に向き合ってくれているので自分も頑張る勉強しようという気持ちになります。また、生徒同士で協力して学習に取り組もうとするので、自主的に行動しようとする姿勢を、自然に身に付けることができますようになります。



♪なりたいたい 自分に ONLY WAY ♪



串高 YouTube